平成 24 年度　シラバス	学年・期間・区分	４年次 ・ 夏期休業期間 ・ B 群
	対象学科・専攻	土木工学科
工 場 実 習 （Internship）	担当教員	山田　真義（Yamada , Masayoshi）
	教員室	都市環境デザイン工学科棟３階（TEL：42-9123）
	E-Mail	m-yamada@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態／単位の種別／単位数	実験・実習 ／ 履修単位 ／ １単位	
週あたりの学習時間と回数	5 日間（実習時間 30 時間 〔実習（360 分）×5 日〕以上）	

〔本科目の目標〕　5 日間もしくはそれ以上の期間，企業での業務を通して仕事を体験し，企業において必要なコミュニケーション能力や企業の社会的責任を理解する．

〔本科目の位置付け〕　これまで，座学によって学んだ知識あるいは工学実験で学んだ内容が，実際の企業でどのように応用されているかを理解する．また，実社会における技術者としての心構えを学ぶ．

〔学習上の留意点〕　企業では，参加学生のために時間と労力を割いているので，そのことを念頭に，礼儀に失することなく社会人としてのマナーを考えながら行動すること．また，実習中は積極的に質問することにつとめる．

〔授業の内容〕

授　業　項　目	時限数	授業項目に対する達成目標
原則として， 受入企業に 5 日間出向き， 企業から提供される実習 テーマに基づいて実習を 行なう．	30 時間 (5 日間)	□（1）技術者としての社会的責任を自覚し，職業意識の向上を図ることができる． □（2）与えられた実習テーマに対し，これまでに学んだ専門知識や現場での学習をもとに課題を解決し，まとめる能力を養うことができる． □（3）技術者が直面する産業社会での問題点や課題を理解することができる．

〔教科書〕　なし
〔参考書・補助教材〕　インターンシップ実施要項，受入企業での各種パンフレット，カタログ，資料等

〔成績評価の基準〕
当該企業の指導責任者による評価や実習報告書 および インターンシップ実施説明会の受講態度等をもとに合否で評価

〔本科（準学士課程）の学習・教育目標との関連〕　3-d , 4-a
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕　3-3 , 4-2
〔JABEE との関連〕　(d)(2)d)

Memo